



てんき なつ あさ は みず  
**天気の良い夏の朝、葉のふちに水のつぶがついているのはなぜ**

しょくぶつ ね みず す あ は すいじょうき だ  
**植物は、根から水を吸い上げ、葉から水蒸気を出している**

しょくぶつ ね から た え ず、た く さ ん の み ず を 吸 い 上 げ て い ま す。そ の み ず は、は で えいようぶん つく  
 植物は、根からたえず、たくさんの水を吸い上げています。その水は、葉で栄養分が作ら  
 れるときの材料になったり、植物の体内に栄養分を運ぶ役目をしています。

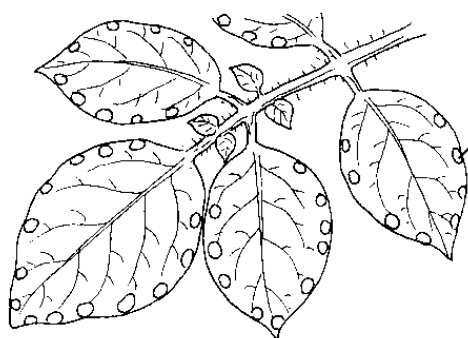
は うらがわ には きこう と よ ば れ る ひら と  
 葉の裏側には、気こうとよばれる開いたり閉じたりできるあながあります。気こうは、葉  
 の中の余分な水分が多くなったら開き、少なくなると閉じるしくみになっています。ここから、  
 余分な水分は、水蒸気の形で、空気中に出されます。

あつ ひ すいじょうき で  
**むし暑い日は、水蒸気が出ていかない**

なつ あつ よる など かぜ は なか よぶん すいぶん すいじょうき かたち で  
 夏のむし暑い夜など、風がないと、葉の中の余分な水分は、なかなか水蒸気の形で出て  
 いかなくなります。湿気が多いときは、洗たく物が、なかなかかわかないのと同じようなわ  
 けです。そのため、葉のふちにある、水こうというあなから、葉の中の余分な水分を、水の  
 つぶにして出し、水分を調節するしくみがあります。

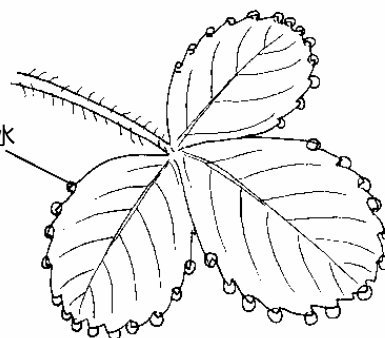
すい こう から だ された みず は、は の ふち に だけ、てんてんとつぶのように並んでつきます。

よ つゆ や あさ つゆ など は、は ぜんたい が しっとりぬれたり、サトイモの葉のような丸い葉なら、  
 葉の真ん中に、まん丸い水の玉になっているため、見分けがつきます。(監修・矢野 亮)



ジャガイモの葉

水こうから出た水



イチゴの葉

